

岩手県職労

月2回刊=1544号
 2019年11月15日 発行
 発行日 毎月15日30日
 発行所
 盛岡市内丸10番1号
 岩手県庁内
 岩手県職員労働組合
 印刷所
 盛岡市上田二丁目17-4
 有限会社 ジョー印刷企画
 一部 40円
 組合員購読料は組合費に含む

人生予報、晴れたり曇ったり

雨の日だってあるのが人生。仲間同士の助け合いで備えましょ。入院は日帰りからお支払い、ケガのときは通院だけでも保障。5大成人病の入院も手厚くカバー。◆お問い合せ・お申し込みは組合へ

じちろうの団体生命共済

全労連 自治労共済本部

2019確定闘争/11・8地公共闘総務部長交渉

給与改定 通勤手当改善 12月議会に提案へ

通勤手当(交通用具)45キロ以上引き上げ回答引き出す

11月8日、岩手県地方公務員共闘会議は、2019県人勧の取り扱いなど確定闘争に係る最終局面となる八重樫総務部長と交渉を行った。交渉では月例給・通勤手当距離区分新設の上限額設定について、12月議会提案を行うこと、距離区分新設の改定は45km以上とすること等の回答を引き出した。高速道路利用の手当改善等の継続課題については引き続き職員負担等を踏まえ検討するとの回答を引き出した。地公共闘は今定期の交渉到達点と受け止め、継続課題の真摯な対応を要請し、交渉を終了した。



△前進回答を求め総務部長交渉に臨む地公交渉団



△回答する八重樫総務部長

【給与改定】

県人勧どおり給与改定を12月議会に提案するとした。年内差額支給は、事務的に整理中であり、できる限り早期支給に努めるとし、後刻確認することとした。

【高齢層職員の勤務意欲策】

高齢層職員に対しこの数年厳しい状況が続いているとし、現給保障が終了した

県職労・総務部長交渉

総務「県職労意見反映し改善」示す

「人員確保」欠員解消へ努力、「超勤」12月増額補正へ

県職労は、11月1日佐藤人事課長交渉を経て、11月8日八重樫総務部長交渉を行い、県職労独自課題に係る改善回答を求めた。

【高齢層職員の勤務意欲策】

給与制度の総合的見直しの現給保障終了時の対象者は約290人であるとし、現給保障終了に伴い、主幹任用や勤奨手当の運用上の工夫等に引き続き取り組みとした。交渉団から賃金面での目に見える改善が必要とし、二層の対策を求めた。

【人員確保】

来年度の採用規模を170人程度(一般行政60人、

各任命権者で実感できる対応を強く要請した。

【諸手当改善】

交通用具利用の距離区分の拡大(90kmまで・上限額49,300円)に関し、12月議会に提案し、2020年1月から施行する方針とともに、引上げについては45km以上の区分とすることを引

き出した。一方、高速道路利用等の諸手当改善は、費用弁償の観点から課題があると認識しているとし、環境整備の姿勢を持ち、人事委員会と意見交換して検討との姿勢を引き出し、継続課題とした。住居手当は人事委員会の検討や他県動向を踏まえ対応したこと、

家賃負担の実態こそ踏まえ改定を行うよう求めた。

【赴任旅費】

費用弁償の側面をどれだけ制度に反映させるか考慮し、他県事例を把握して引き続き研究との姿勢にとどまったことから、遠距離異動者への負担緩和が不可欠とし、早急な改善を求めた。

【交渉到達点】

県人勧完全実施が確定し、一定の到達点となったが、高速道路利用等の諸手当改善は継続課題に。次期闘争期に向けて課題集約し、取り組みを強化していく。

【会計年度任用職員】

一般行政経費で措置する会計年度任用職員を11月18日から募集するとするも、専門職種の賃金水準・年次休暇の繰り越し日数等の取り扱いが示さなければかりか、パートタイム任用等で職場に混乱が生じているとし、総務部長を追及したところ、個別の業務の状況を確認して適正な配置を検討との回答にとどまり、極めて不十分な回答であったことから、個別課題の交渉継続を申し入れた。

【今後の闘争に向けて】

最終局面では総務部長から改善の姿勢を示すも、具体的改善には引き続き取り組みの強化が不可欠だ。会計年度任用職員課題は今後の交渉を継続し職場での任用確保を求めていく。

【住環境の整備】

超勤予算に関し、台風19号災害対応を含め増額を12月補正で行うとし、所要額の最終的な精査中とした。

【超勤勤務課題】

超勤上限規定や客観的勤務時間把握が有効に機能していないと訴えたところ、管理職が職員の勤務時間を客観的に把握し、業務量の偏在の解消を図るよう徹底するとした。そのうえで、客観把握をもとに人員配置や超勤配分するもので、予



△総務部長の姿勢を質す県職労交渉団



△回答する八重樫総務部長

第五世代

朝の最低気温も氷点下をさしはじめ、通勤時にはジャンパーやコートも目立つようになってきた。岩手に雪が舞い降りる日もそう遠くないだろう。しっかりとした冬の防寒対策を▼日本より寒いドイツでは、冬、建物の中の暖房は常につけっぱなし、石やレンガで作られた厚い壁は、一度冷えると再度温めなおすのに膨大なエネルギーを必要とする。そのため暖房をつけっぱなしにしておいた方がエネルギーは少なく済むという。鉄筋コンクリート造でつくられている県庁や合同庁舎も同様だ。常に快適な環境の下で業務を行いたい▼外出時には、ダウンジャケット、マフラー、帽子、手袋に加え耳当て、靴は地面からの冷気が直接伝わらないよう起毛素材の中敷、うがい手洗いも忘れてはいけない。また、しょうが入りのお茶、しょうがとレモン、オレンジなどをブレンドした飲み物も香りさわやかで飲みやすくおすすめ▼それでも体調が思わしくないと感じた時には無理をせず早期治療を行うことが自分にとって必要であり、職場への配慮である。みんなでフォローできる体制で、長い冬を元気に過ごそう。

県南4支部合同 振興局長交渉

平野振興局長に要求書提出し交渉 欠員等の解消へなお工夫を求め

県南局広域振興局所属の4支部(胆江支部・花巻支部・北上支部・一関支部)は10月30日、平野直県南広域振興局長に対し4支部合同の要求書を提出するとともに交渉を行った。



▲平野県南振興局長(右)に要求書を手渡す長沼胆江支部長、藤原花巻支部長、佐々木一関支部書記次長

要求書の内容は7月に4支部組合員を対象に行ったアンケートの集計結果を踏まえた「広域振興局体制」「局長権限の人事異動」「働き方改革・長時間労働の是正」「労働環境整備」



▲交渉に臨む交渉団(手前)

「労使間の定期的な意見交換」の5項目であり、交渉冒頭、胆江支部星川書記長が要求書の主旨を説明。その後、各支部の代表者(胆江支部長沼支部長・花巻支部藤原支部長・一関支部佐々木書記次長)が欠員状況、独自課題等について発言した。

平野局長からは「今後も意見交換の機会を持ちたい。お互いのベクトルの違いはなく労使共に同じ方向を向いていること変わりはない。与えられている条件、金と人員は限られているが実際にやれることはやっていきたい」、「欠員について

では、当職から人事課に対し機会をとらえて度々実情を訴えている。人事課も欠員を必ず解消させることを目的に取り組んでおり、放置しているわけではなく、努力はしている」などとコメントがあった。

採用に繋がっていない現実があり、他県にない工夫をする必要があるのではないか」などの意見も出された。今後、さらに意見交換をする機会を検討するとともに、働きやすい環境を目指して引き続き交渉していく。要求書への回答は11月22日の予定。

税務協・税務課総括課長交渉

欠員の解消と人材育成を要請 総括課長 課題共有し改善に取り組む

県職労税務職員協議会は、全税務職場での職員アンケート結果を経て、人員確保(欠員解消等)、人材育成強化、執務環境改善などを柱とする税務課長あて要求書を作成し、11月1日に奥寺税務課長に手交のうえ、交渉を行い、税務協議会幹事

が参加し、実態を訴えた。欠員解消に関し、「今年度当初5人。補充を行うよう人事当局に要請し、9月時点で3人が配置された。残2人は所属の意向を踏まえ当面は臨時対応」としたうえで、「税務課として欠



▲要求書を手渡す鳥屋部税務協会長(右)



▲交渉に臨む税務協交渉団

部長会議でも徹底するとした。【法人調査マニュアル】マニュアル整備は税務課題研究会での対応が基本と考えるが、現時点では電算システム改修を進めており、終了後の対応と考えている。【マイナンバー書類の保管】最大9年間の厳重保管が義務付けられる。課題や必要な予算措置について管財課に申し入れる。

【今後のとりくみ】人員確保やプロパー職員配置など改善に向けた基本姿勢を引き出したものの、課題は山積したまま。今後継続して職場討論・要求書作成・交渉を進めていく。

員が生じないよう人事当局に協議している」、「花巻県税センターは大口工場立地を踏まえ、特命班に向けて増員要求中」とした。

人材育成は「人材育成の研修体制は充実したいが県庁も精一杯のところ。できるだけ工夫しながら対応」とし、スペシャリスト育成は、「人事配置面で総務部長にも要望してきた。他部

が参加し、実態を訴えた。欠員解消に関し、「今年度当初5人。補充を行うよう人事当局に要請し、9月時点で3人が配置された。残2人は所属の意向を踏まえ当面は臨時対応」としたうえで、「税務課として欠

が参加し、実態を訴えた。欠員解消に関し、「今年度当初5人。補充を行うよう人事当局に要請し、9月時点で3人が配置された。残2人は所属の意向を踏まえ当面は臨時対応」としたうえで、「税務課として欠

9月定例会 県議会報告

9月定例会県議では、県職労推薦の佐藤ケイ子県議、小西和子県議が一般質問に登場。県政推進の観点から県職員の確保、処遇改善等を柱とする課題を訴えた。



▲佐藤ケイ子県議

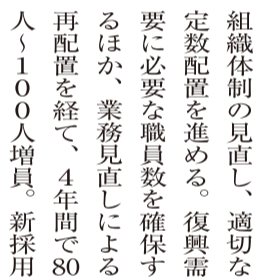
10月17日佐藤ケイ子県議

【人員確保】中長期的視点に立った人員確保に向け、欠員解消にどう取り組むか。専門職確保に向けた対策は、(総務部長)4年間で80人、100人程度増員を図る予定。欠員解消に向けて新採用、応援職員の確保を進めたほか、特別募集で9月1日に32人採用。新採用確保に向け、インターンシップ、業務説明会の実施等で採用試験受験者の確保を図ってきた。専門職も同様。児童福祉司や農

学職は概ね人員確保も、獣医師は9月1日現在で3人の欠員。通年の募集や経験者の任期付採用等の取り組みを進める。引き続き各部署・人事委員会と連携し対応。

会計年度任用職員

【佐藤県議】現実はパートタイムへの転換により月例給引下げ等の処遇悪化が懸念。法趣旨に沿った対策を。(総務部長)事務補助を行う現在のフルタイム臨時任用職員と、パートタイムの会計年度任用職員を比較した場合、初年度の年収べ



▲小西和子県議

【10月21日小西和子県議】【将来の定数配置】(小西県議)いわて県民計画遂行に向けた人員体制は、(知事)社会情勢や新たな行政課題に対応できるよう、

【小西県議】超勤上限等の諸制度導入から半年経過。職場改善にどう活かすか。

【小西県議】超勤上限等の諸制度導入から半年経過。職場改善にどう活かすか。

【小西県議】超勤上限等の諸制度導入から半年経過。職場改善にどう活かすか。

盛岡支部・久慈支部役員紹介

盛岡支部 久慈支部 支部長 大(林務部) 副支部長 高見 重章(水産部) 書記長 須賀 規雄(経営企画部) 書記次長 高畑 博志(普及センター) 執行委員 千田 浩晋(保健福祉環境部) 安部 努(土木部) 伊藤 貢(振興局県税部) 副支部長 樋口 晃大(総務事務センター) 長門三喜男(産業技術短期大学校)

久慈支部 支部長 佐藤 大(林務部) 副支部長 高見 重章(水産部) 書記長 須賀 規雄(経営企画部) 書記次長 高畑 博志(普及センター) 執行委員 千田 浩晋(保健福祉環境部) 安部 努(土木部) 伊藤 貢(振興局県税部) 副支部長 樋口 晃大(総務事務センター) 長門三喜男(産業技術短期大学校)



▲伊藤盛岡支部長

伊藤 貢(振興局県税部) 副支部長 樋口 晃大(総務事務センター) 長門三喜男(産業技術短期大学校)



▲佐藤久慈支部長

久慈支部 支部長 佐藤 大(林務部) 副支部長 高見 重章(水産部) 書記長 須賀 規雄(経営企画部) 書記次長 高畑 博志(普及センター) 執行委員 千田 浩晋(保健福祉環境部) 安部 努(土木部) 伊藤 貢(振興局県税部) 副支部長 樋口 晃大(総務事務センター) 長門三喜男(産業技術短期大学校)